



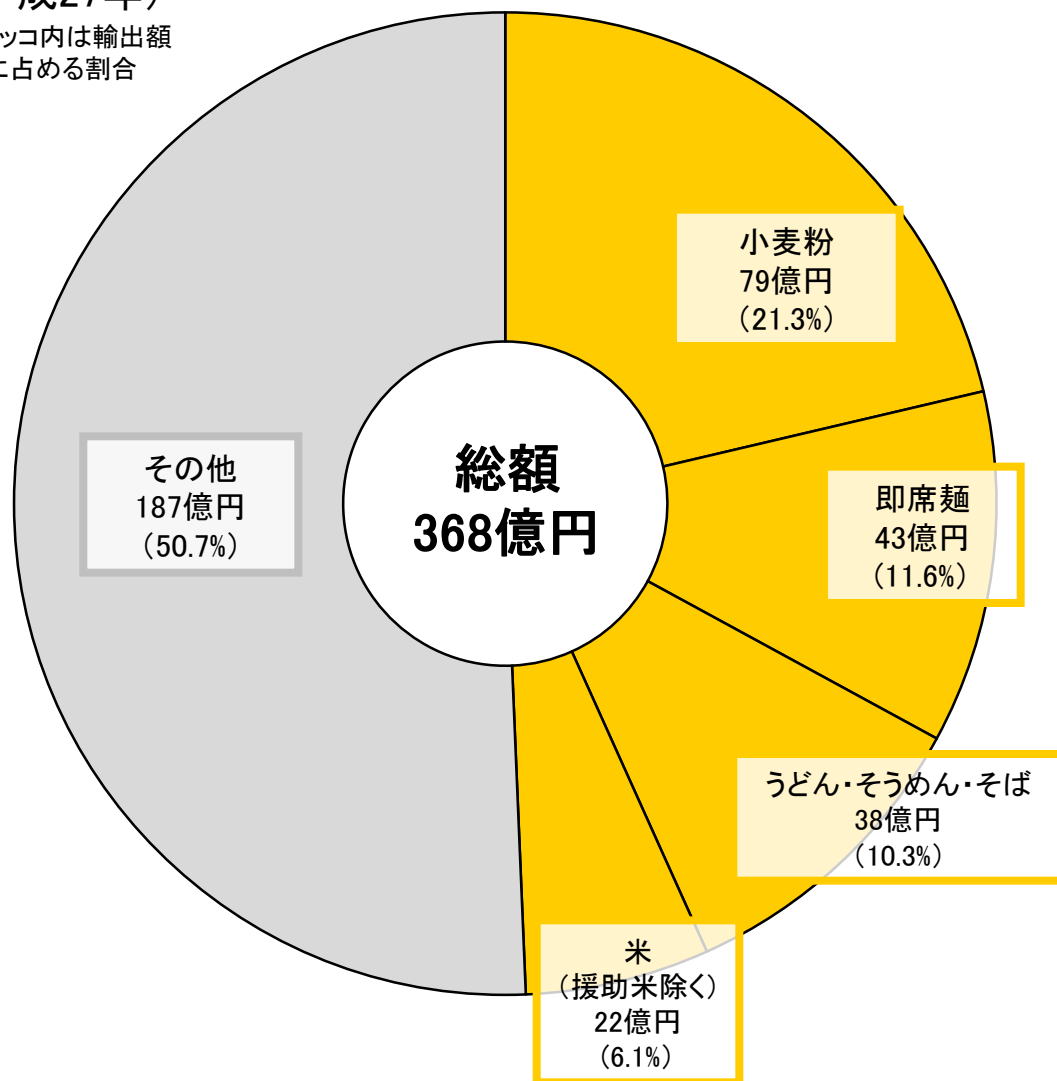
穀物等の内訳

MAFF

●穀物等の品目別内訳をみると、小麦粉、即席麺、うどん・そうめん・そばなどの割合が多い。

(平成27年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

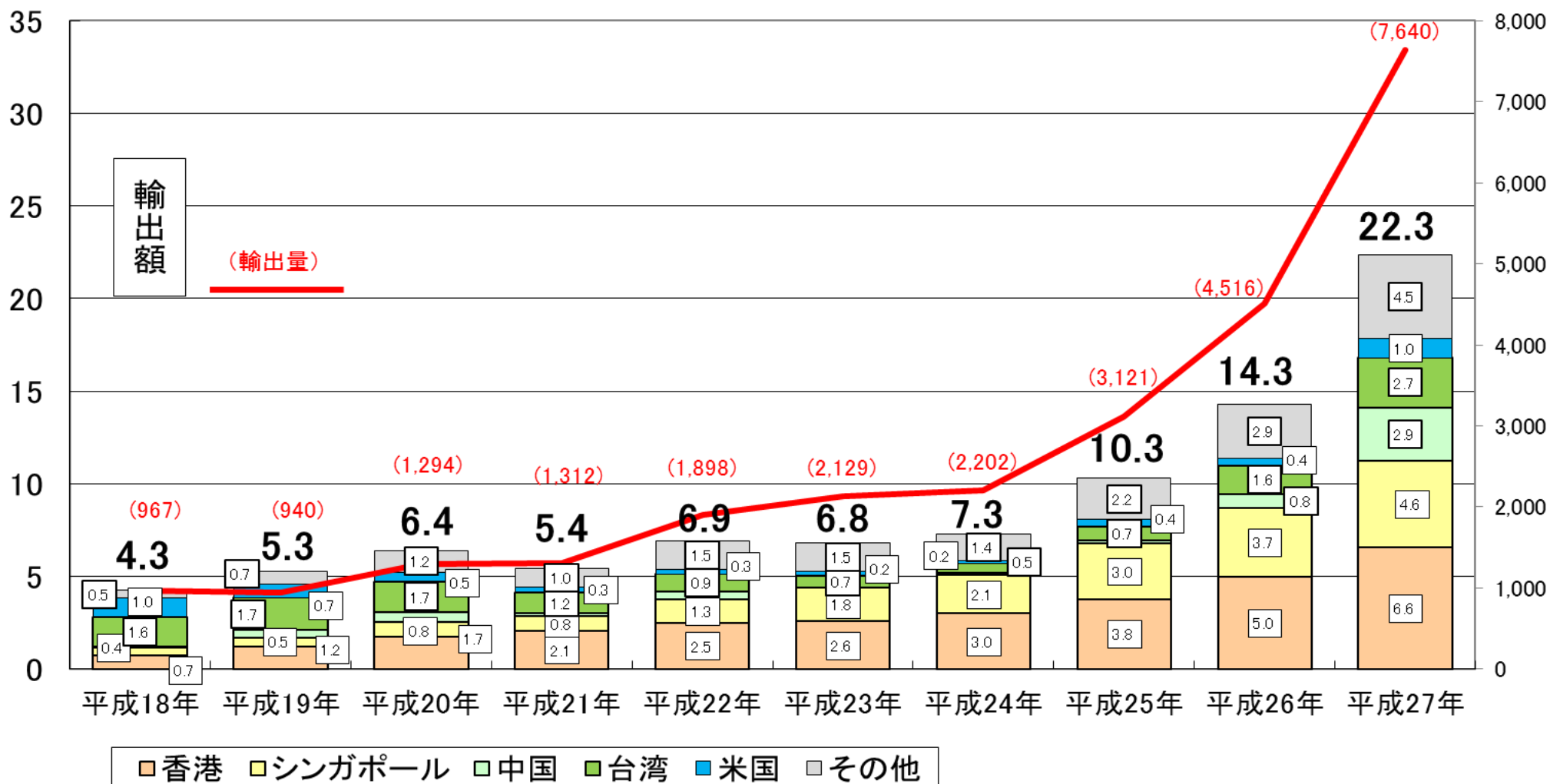
品目名	平成26年	平成27年	増減率
小麦粉	74.5	78.6	5.5%
即席麺	35.4	42.8	20.9%
うどん・そうめん・そば	31.7	38.1	20.0%
米(援助米除く)	14.3	22.3	56.4%
その他	115.9	186.6	61.1%
穀物等計	271.7	368.4	35.6%

米(援助米除く)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 援助米を除く、商業ベースの米の輸出額は、香港、シンガポール、中国、台湾向けが牽引して増加傾向。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)





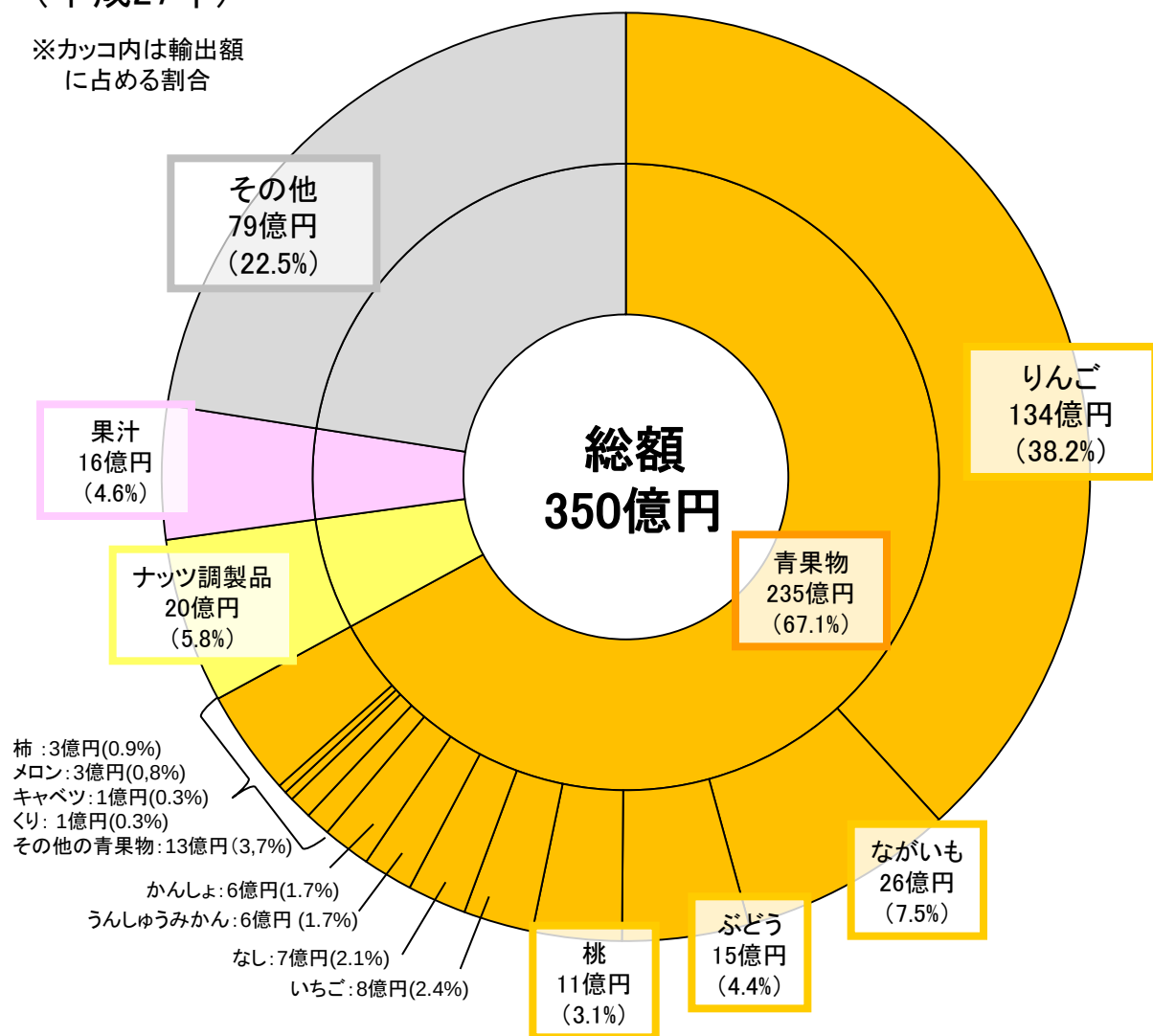
野菜・果実等の内訳

MAFF

- 野菜・果実等の品目別内訳をみると、りんご、ながいもの割合が多い。

(平成27年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位:億円)

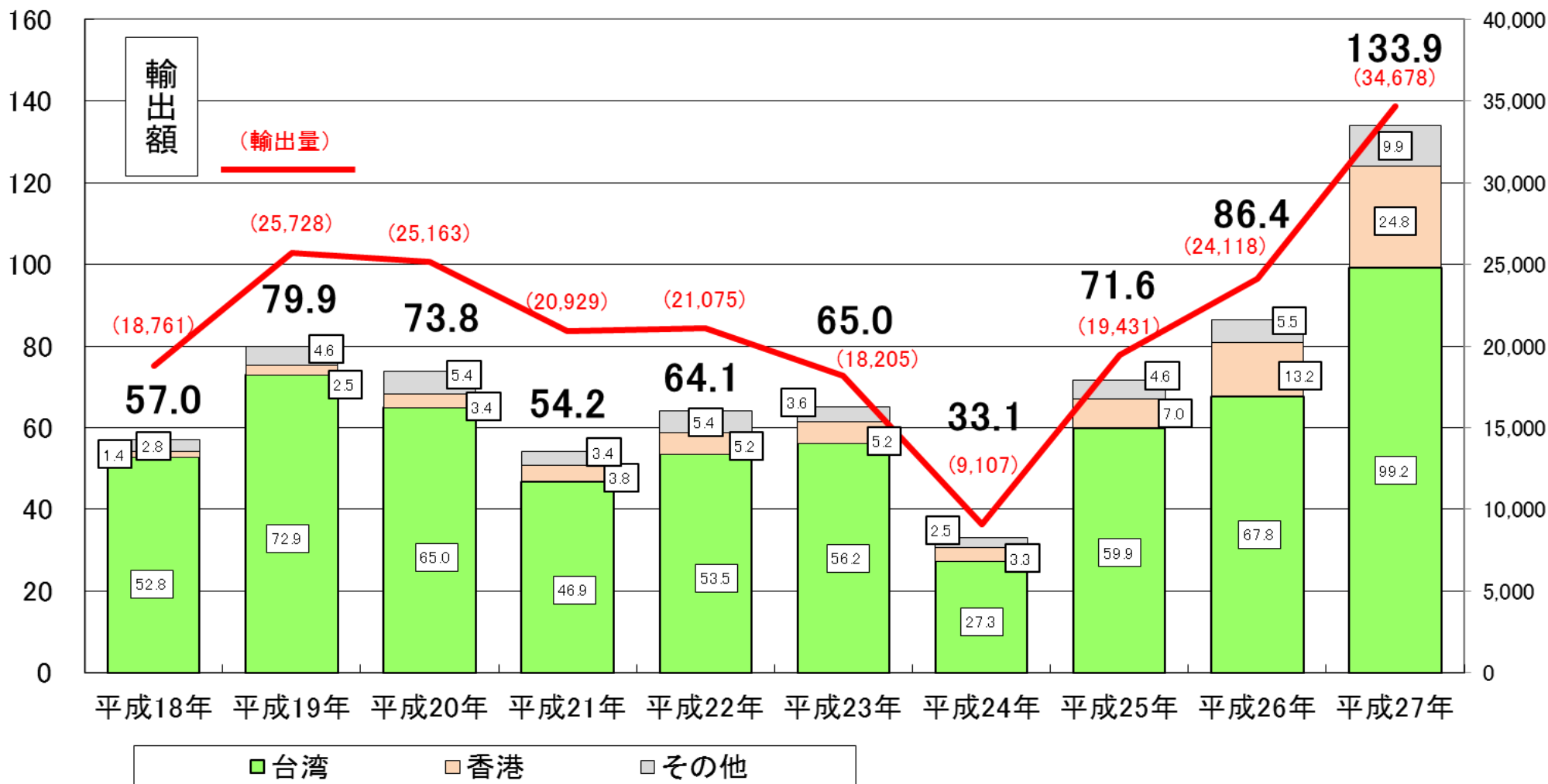
品目名	平成26年	平成27年	増減率
青果物	163.0	235.0	44.2%
りんご	86.4	133.9	55.0%
ながいも	24.2	26.3	8.8%
ぶどう	9.1	15.4	69.3%
桃	8.3	10.9	31.2%
いちご	4.4	8.5	94.9%
なし	5.4	7.2	33.9%
うんしゅうみかん	7.2	6.1	▲15.9%
かんしょ	3.8	5.9	56.4%
柿	2.7	3.0	10.2%
メロン	1.6	2.8	77.3%
キャベツ	0.7	1.1	65.4%
くり	4.2	1.1	▲74.6%
その他の青果物	5.0	12.8	154.3%
ナッツ調製品	15.4	20.2	31.4%
果汁	12.9	16.3	25.8%
その他	52.0	78.9	51.7%
野菜・果実等計	243.3	350.4	44.0%

りんごの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- りんごは果実輸出の主力産品であり、台湾向けが中心。平成26年及び27年ともに作柄が良く、品質が高く評価され、輸出が伸びている。

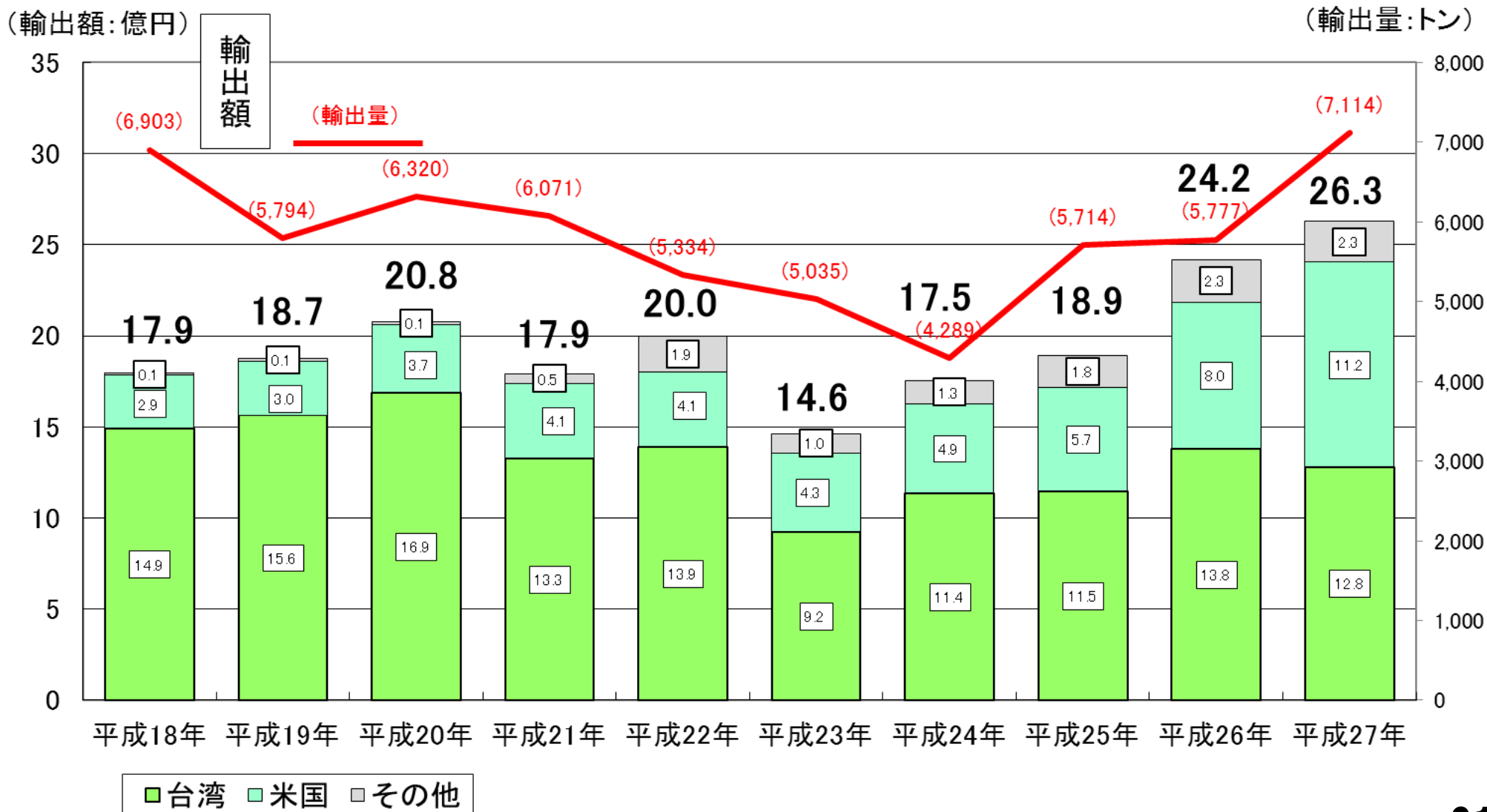
(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



ながいもの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- ながいものは、野菜輸出の主力産品であり、震災後、増加傾向。主に台湾、米国向けに輸出。





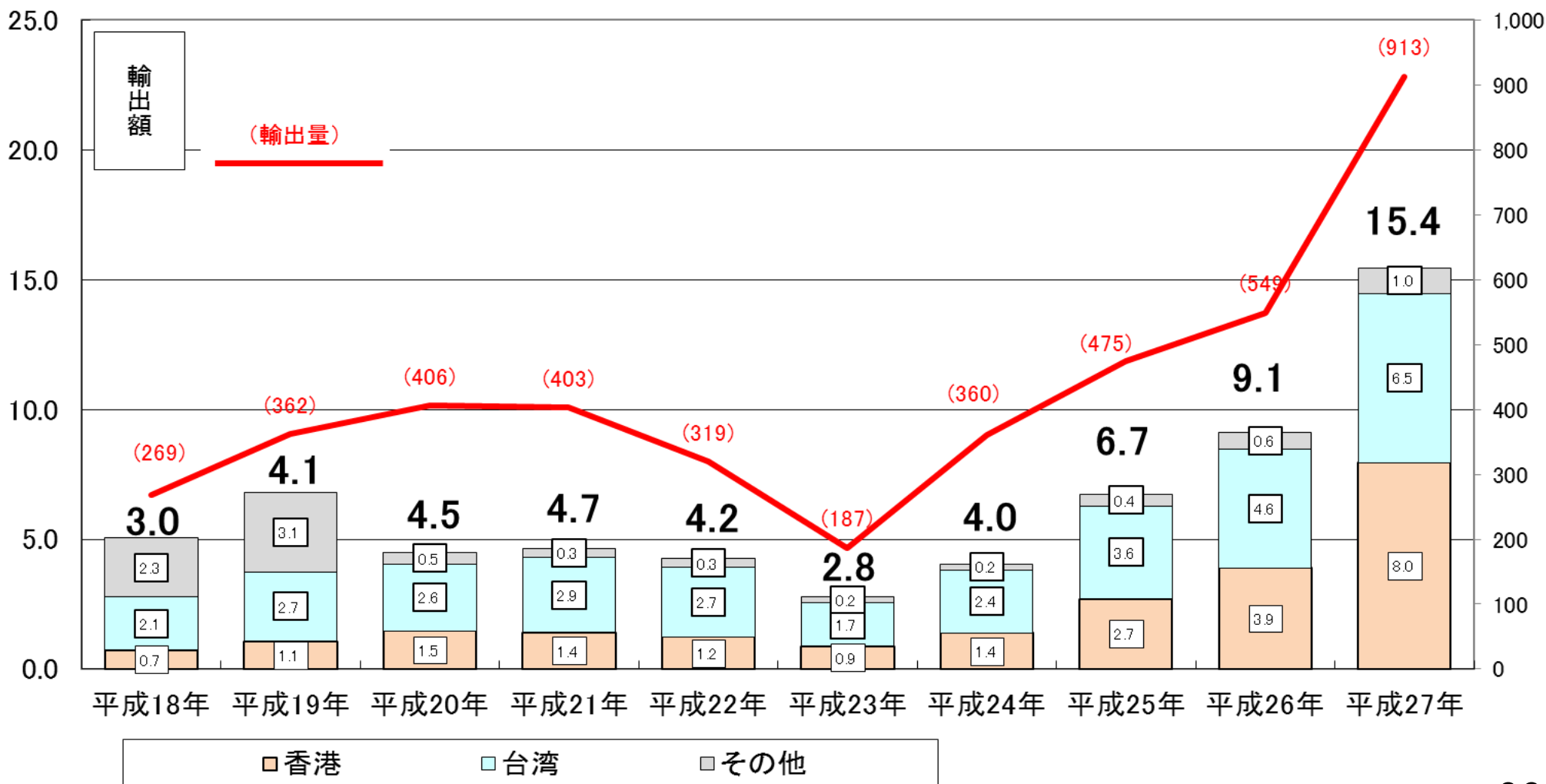
ぶどうの輸出額・輸出货量及び輸出先国の推移

MAFF

- ぶどうの輸出額は、香港、台湾向けが多く、平成24年以降、堅調に伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出货量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



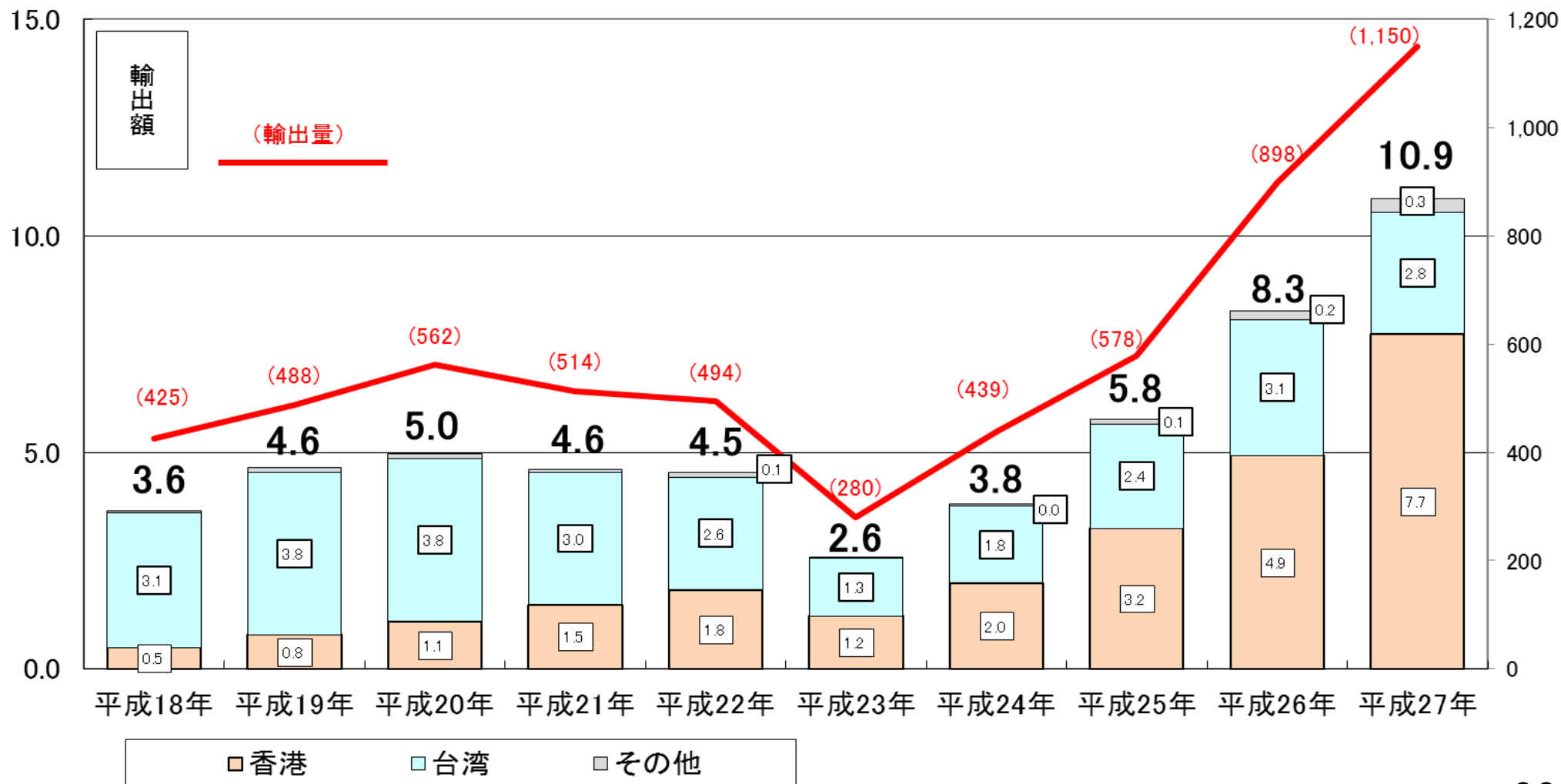
桃の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 桃の輸出額は、香港、台湾向けが多く、平成24年以降、堅調に伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



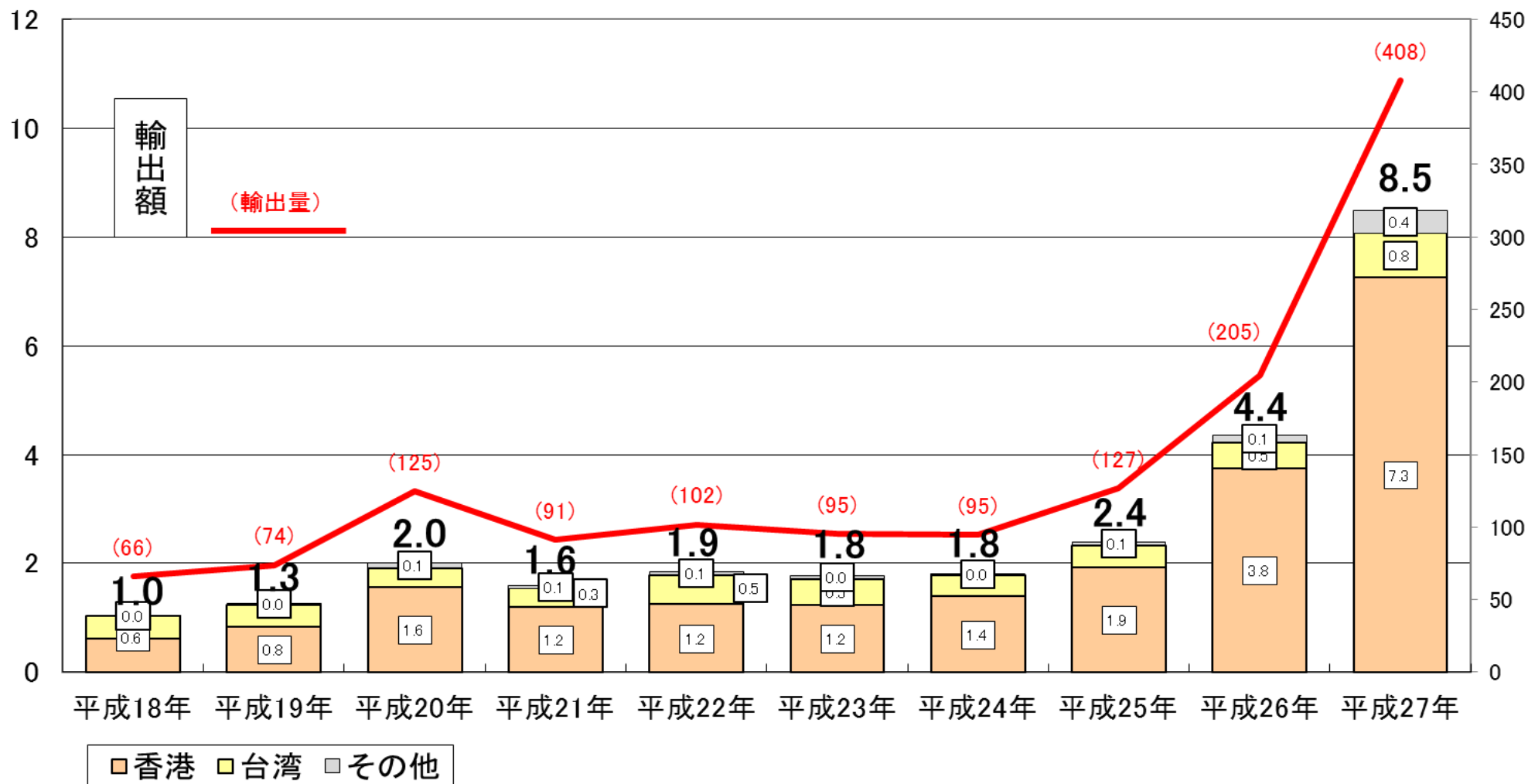
いちごの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

●いちごは、香港、台湾向けを中心に輸出。平成27年は香港向け輸出が過去最高を記録。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



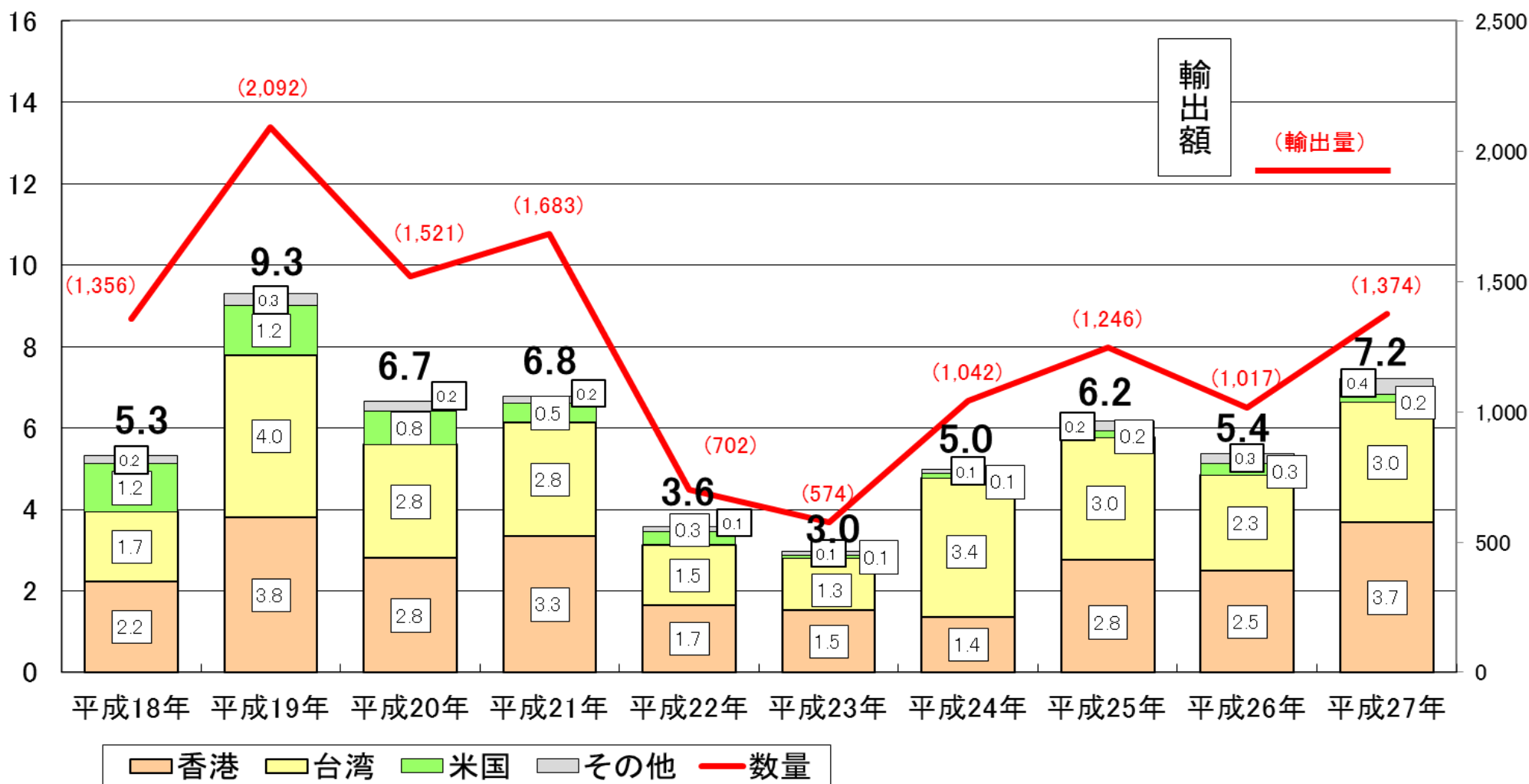
なしの輸出額・輸出货量及び輸出先国の推移

MAFF

- なしは、主に香港、台湾向けの輸出が多い。

(輸出額: 億円)

(輸出货量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



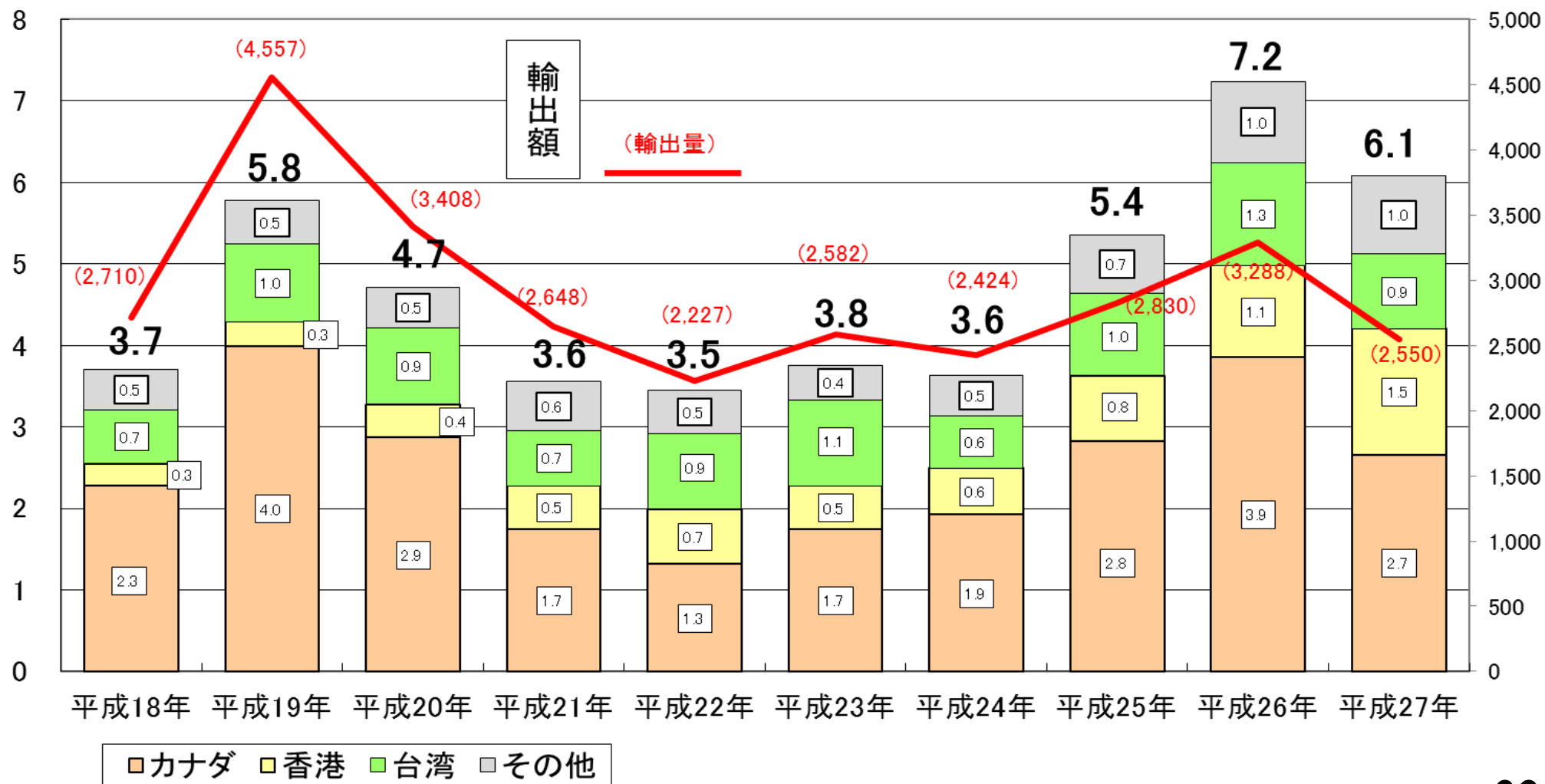
うんしゅうみかんの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- うんしゅうみかんの輸出額は、カナダ、香港、台湾向けが多い。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



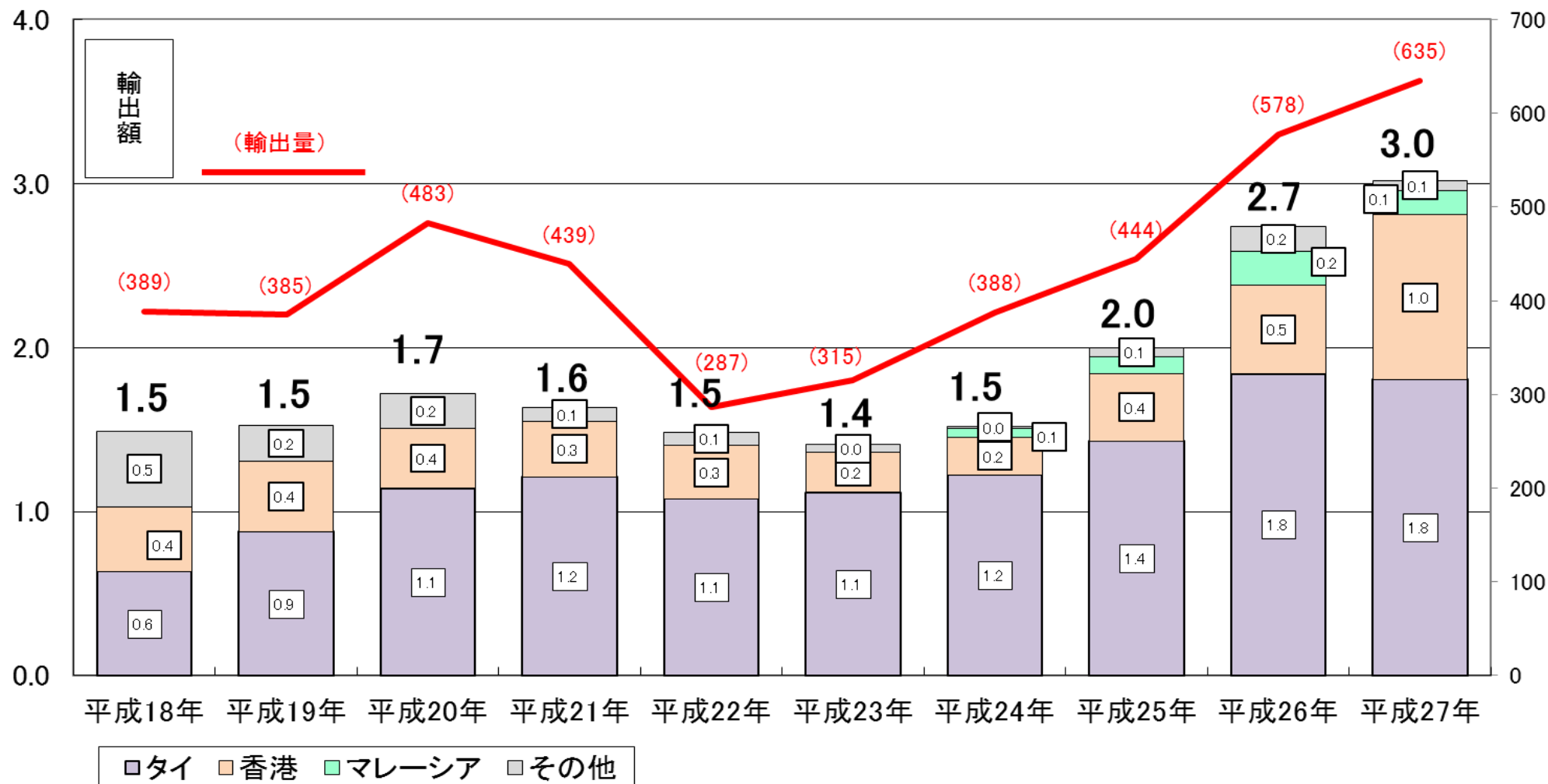
柿の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 柿の輸出額は、タイ、香港向けが多い。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



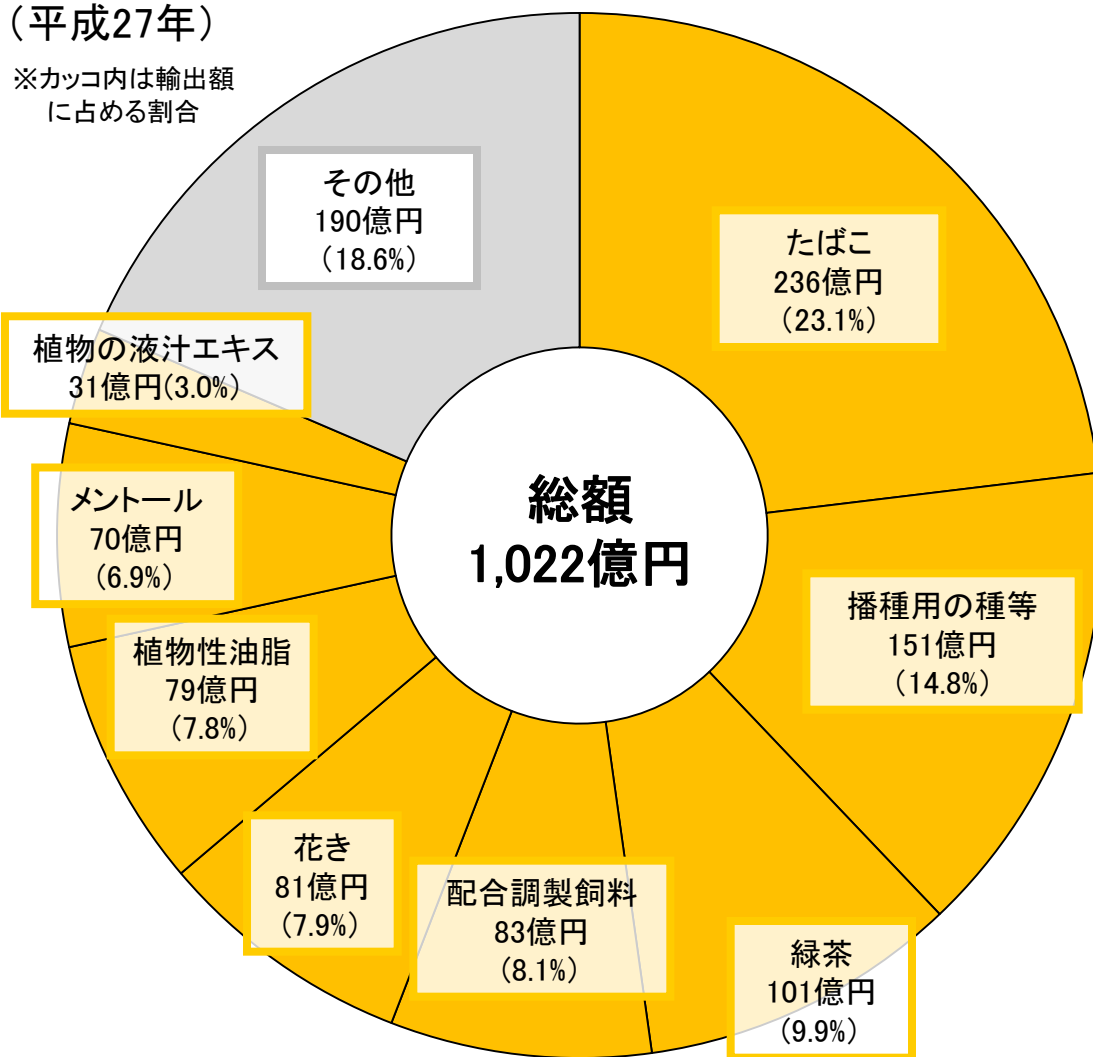
その他農産物の内訳

MAFF

- その他の農産物では、たばこ、播種用の種等、緑茶などの割合が多い。

(平成27年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目名	平成26年	平成27年	増減率
たばこ	194.6	235.9	21.2%
播種用の種等	128.2	151.4	18.1%
緑茶	78.0	101.1	29.6%
配合調製飼料	71.6	82.5	15.2%
花き	84.8	81.2	▲4.2%
植木等	81.4	76.1	▲6.5%
切花	3.4	5.1	50.4%
植物性油脂	68.8	79.3	15.2%
ごま油	46.6	54.9	17.7%
大豆油	0.8	3.5	336.1%
ひまし油	2.4	2.5	3.2%
菜種油・からし種油	2.7	2.4	▲10.9%
パーム油	0.5	0.4	▲23.6%
あまに油	0.2	0.1	▲53.5%
メントール	57.0	70.3	23.4%
植物の液汁エキス	25.4	30.6	20.6%
その他	136.1	189.6	39.3%
その他農産物計	844.5	1,021.9	21.0%

※「植物の液汁エキス」・・・用途は健康食品や化粧品など。

※「メントール」・・・ハッカから抽出される成分で、チューインガムや歯磨き等に使用。



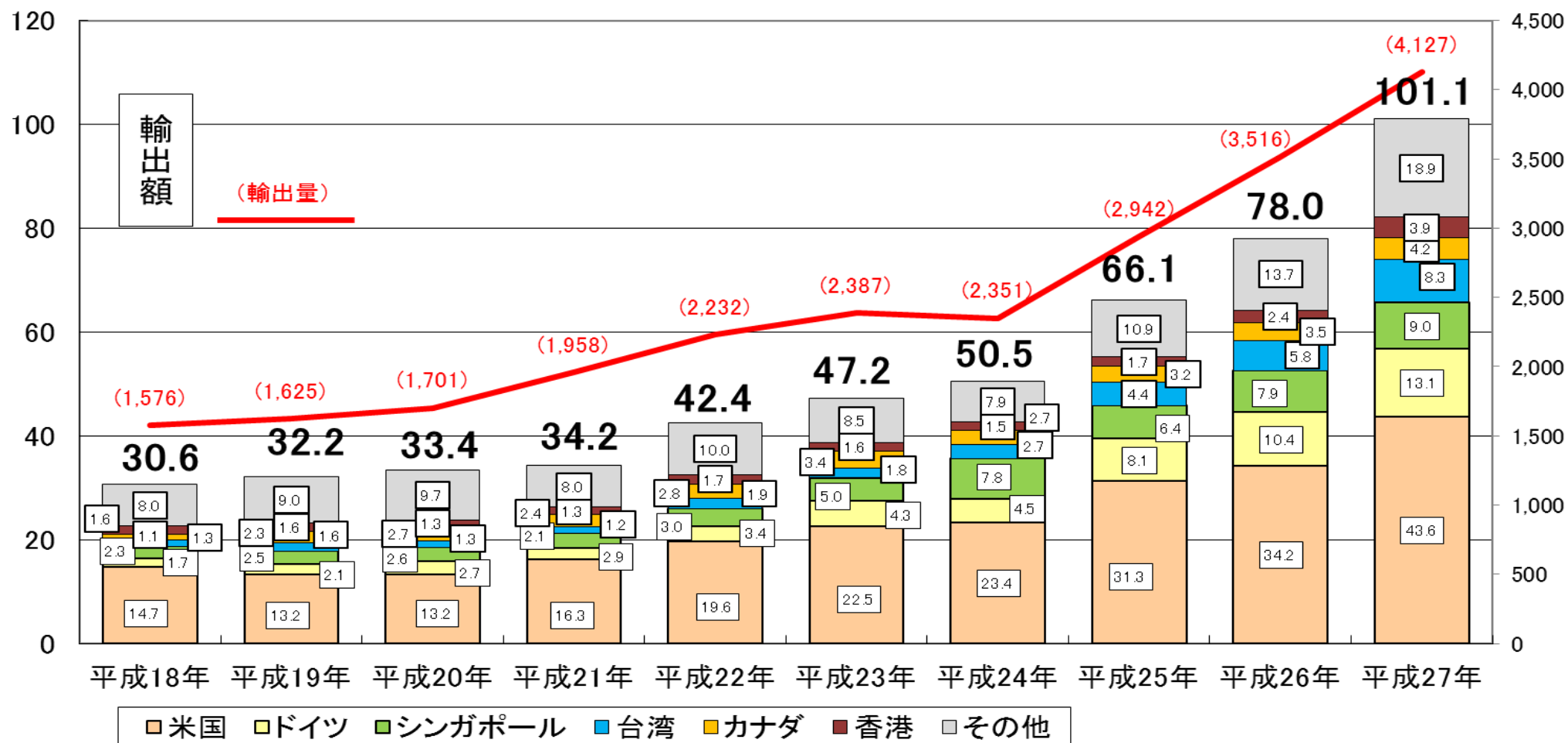
緑茶の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 緑茶の輸出額は、順調に増加しており、米国向けの輸出額が多い。
- 各国における健康志向の高まりにより、緑茶の効能が受け入れられていることや、飲用だけでなく料理やデザート等、加工向けに抹茶を用いる等、用途が広がっていることで、輸出が伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

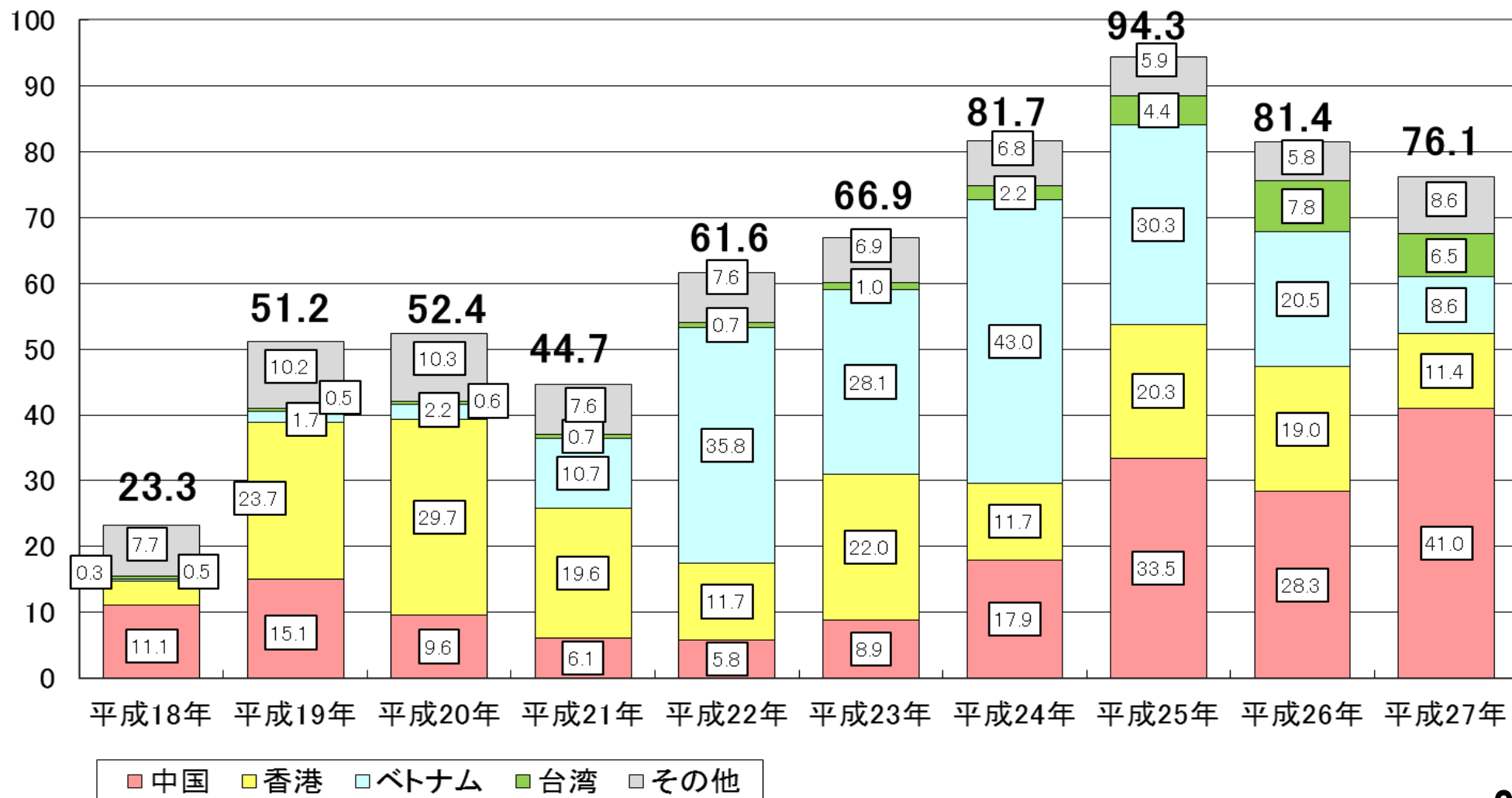


植木等の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 植木等(植木類、盆栽類、鉢物類)の輸出額は、平成25年まで増加傾向で推移していたものの、平成26年から減少。中国、香港、ベトナム、台湾向けで全体の約9割を占める。

(輸出額: 億円)





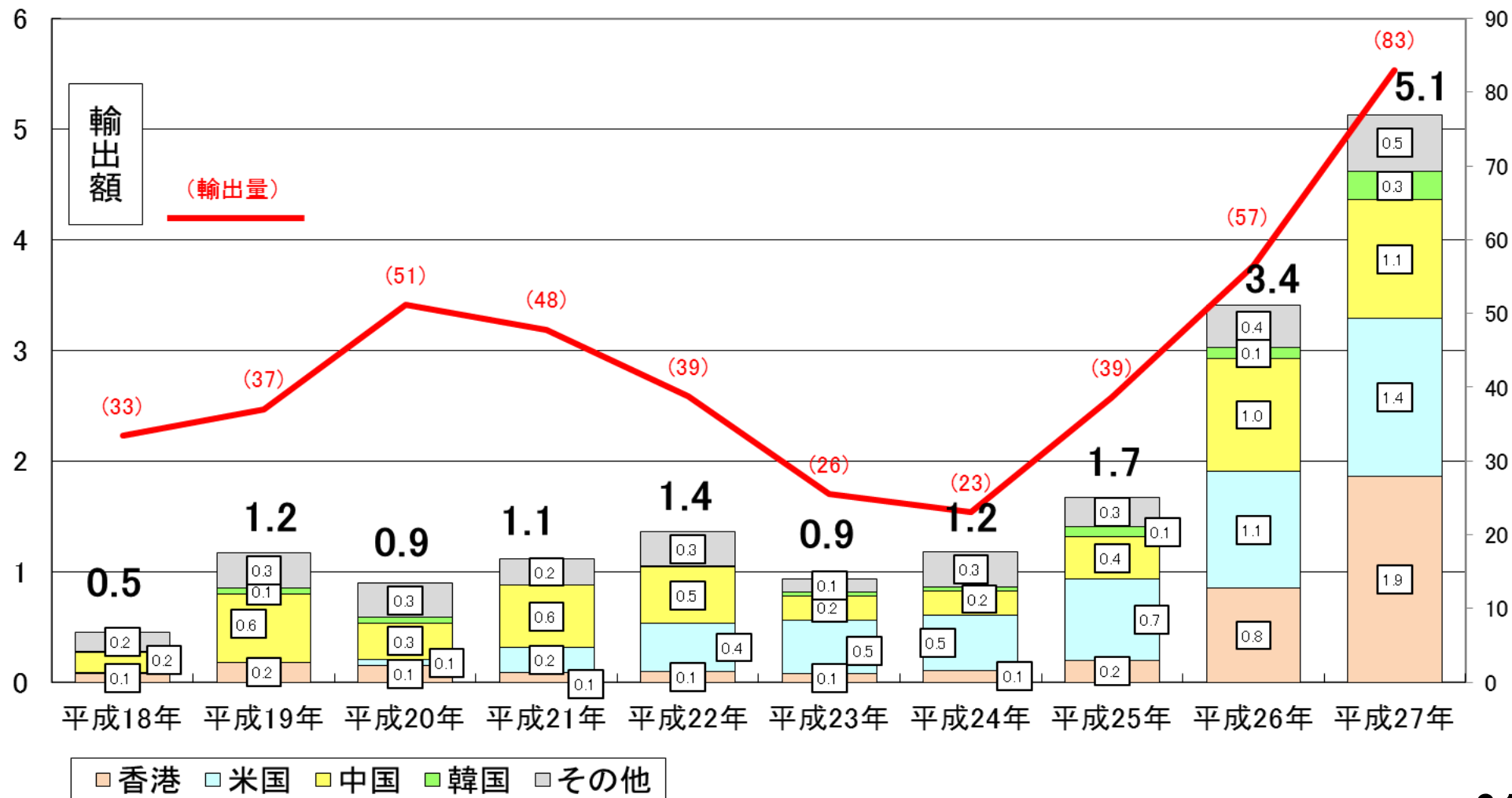
切花の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 切花の輸出額は、香港、米国、中国向けで全体の約9割を占める。近年増加傾向にある中、平成26年から大きく伸び、平成27年には過去最高を記録。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成